



デュオ キッチン用出窓KT220型・浴室用出窓BT220型 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ □内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

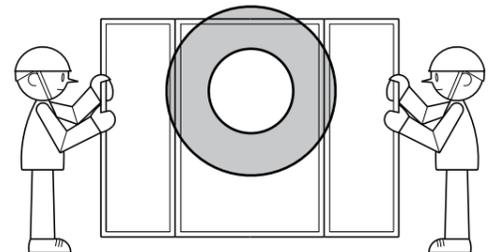
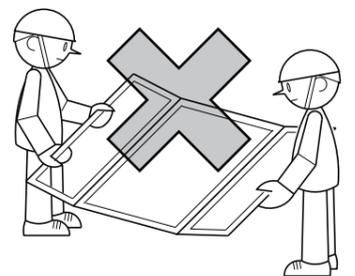
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・W1900mmをこえる製品には、補強ブラケットがくる位置の間柱に対して窓台固定ねじを必ず使用してください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
 - ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
 - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
 - 本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大35kg(屋根を含めると50kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
 - 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - ・屋根の固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
 - ・出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - ・浴室用出窓のサッシ本体と額縁・テーブル板まわりのシーリング時には、接着性を高めるため、必ずプライマーを使用してください。
 - ・浴室用出窓の部材・部品の取合わせ部には、必ず浴室用額縁(別売り)に同梱のコーキング材でシーリングしてください。
- 対象箇所：壁付上枠と縦枠の間
縦枠と縦枠上部引寄せピースの間
- ・縦枠フィンと屋根サイドカバー・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■取付け上のおお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。キズ・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫
名称	皿木ねじφ3.5×32	ナベタッピンねじφ4×30	丸木ねじφ4.1×63	スクリュー釘φ2.4×38	万能ビス(ラッパ)φ4.8×90	皿タッピンねじφ4×30
姿図						
使用箇所	縦枠(室外側)-躯体	水切り-躯体 補強ブラケット-躯体	補強ブラケット-躯体	屋根-躯体	窓台-間柱	壁付上枠-躯体
袋表示	取付け用1					

記号	㊬	㊭	㊮	㊯	㊰	㊱
名称	皿木ねじφ3.1×20	皿小ねじM4×10	薄平木ねじφ3.1×20	薄平テクスねじφ4×25	防水補助シール	縦枠下部防水シール
姿図	 KT220型	 BT220型	 KT220型	 BT220型		
使用箇所	壁付上枠-額縁 縦枠-額縁	アルミ額縁-縦枠 アルミ額縁-壁付上枠	側面下枠-テーブル板	側面下枠-テーブル板	屋根-縦枠フィン	縦枠下部フィン- 下枠補強材フィン
袋表示	取付け用2		取付け用3		-	-

取付け順序

1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け (W1900mmをこえる場合のみ)

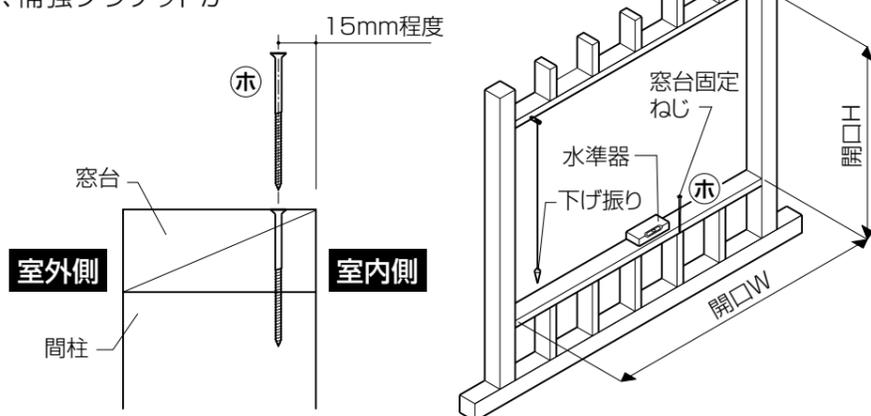
取付け詳細

※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け (W1900mmをこえる場合のみ)

- ①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。
- ②W1900mmをこえる場合は、補強ブラケットがくる位置の間柱に対して、窓台固定ねじを取付けます。その際、ねじ頭が窓台よりも飛び出さないように固定してください。テーブル板が入らなくなるおそれがあります。

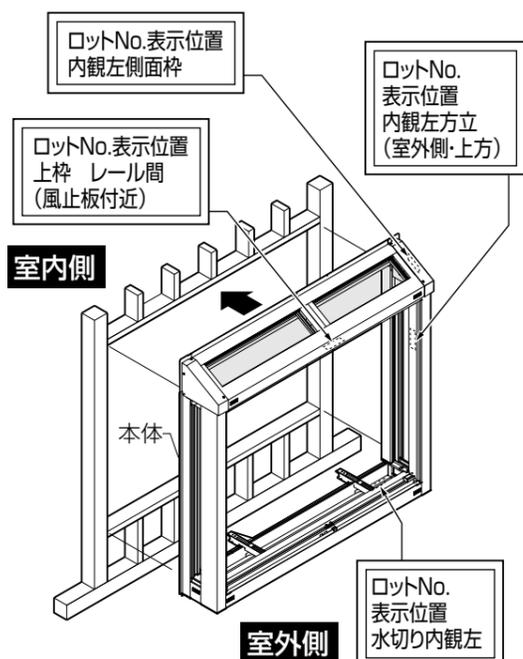
※窓台固定ねじの取付けがきつい場合は、窓台にφ5程度の下穴をあけてから、ねじを取付けてください。



▲ 注意

- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- W1900mmをこえる製品には、補強ブラケットがくる位置の間柱に対して、窓台固定ねじを必ず使用してください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 間柱は、下枠補強材の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。

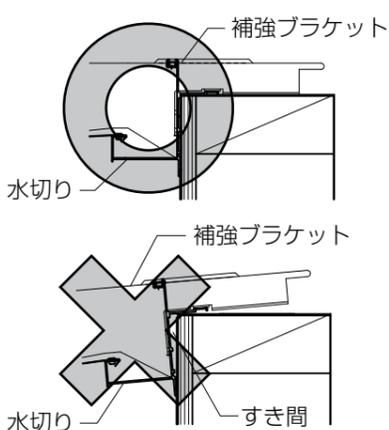
2 本体の取付け



2 本体の取付け

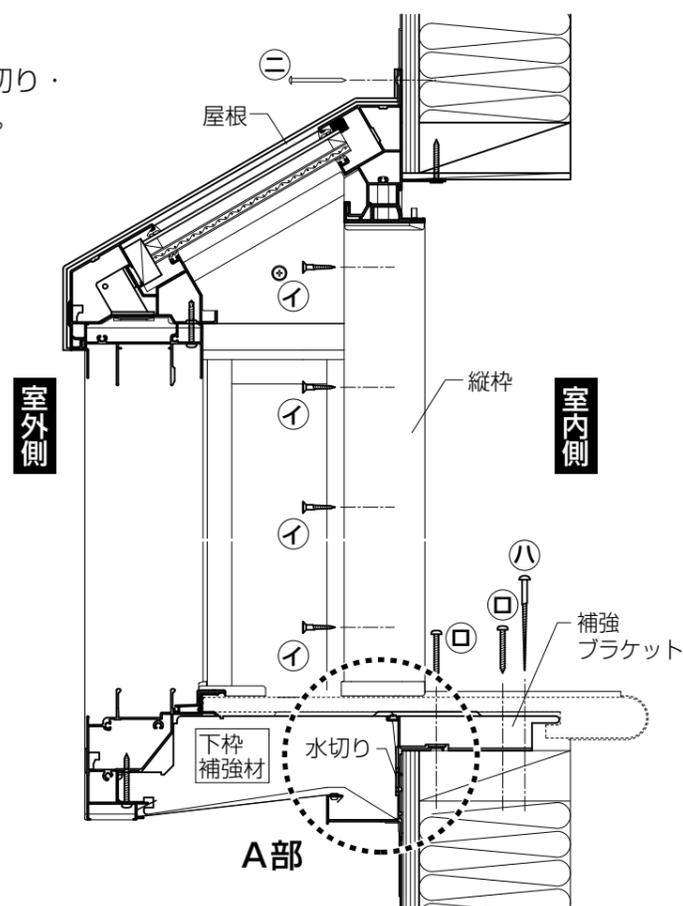
- ①本体を開口部に差込み、補強ブラケット・水切り・縦枠(室外側)・屋根の順で躯体に固定します。

■ A部詳細図



▲ 注意

- 下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。

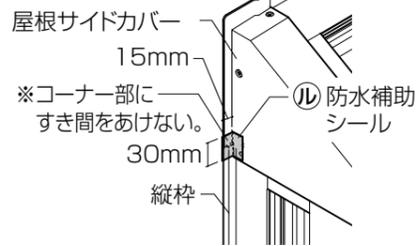


②縦枠フィンと屋根サイドカバーの境目に㊾防水補助シールを張ります。【図1】

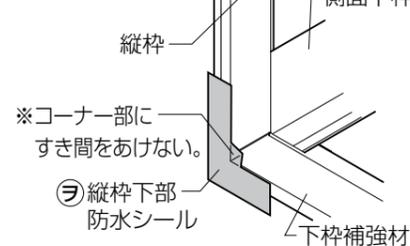
③本体を躯体に取付けた後、㊿縦枠下部防水シールを張ります。【図2】

※コーナー部にすき間ができないように十分押付けて張ってください。

【図1】



【図2】



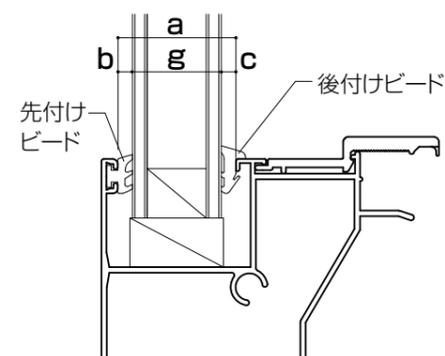
▲注意

●縦枠フィンと屋根サイドカバー・下枠補強材の境目に防水シールを張ってください。

3 側面FIXガラスの建込み

3 側面FIXガラスの建込み

■FIX部ガラスビードの使用区分



■SG(単板ガラス) a=14		■PG(複層ガラス) a=24		先付けビード (b)	後付けビード (c) (別売り)	
ガラス厚(g) (mm)	ガラス厚(g) (mm)	ガラス構成例				
2	12	3-6-3	3	☞	9	☞
3	13	3-6-4	3		8	☞
4	14	3-6-5 4-6-4	3		7	☞
5	15	4-6-5	3		6	☞
6	16	3-6-6.8 5-6-5	3		5	☞
6.8	17	4-6-6.8 5-6-6	3		4	☞
8	18	5-6-6.8 3-12-3	3		3	☞

※後付けビードの押し込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上押縁・縦押縁・下枠の四方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押し込んでください。

4 テーブル板の取付け

4 テーブル板の取付け

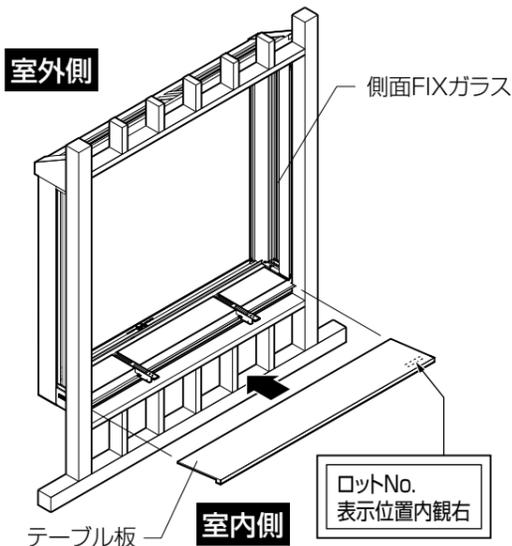
※浴室用で、アルミ額縁使用の場合は、アルミ額縁梱包内の取付け説明書に従って四方を組立ててから取付けてください。

①テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押込んでください。

断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。

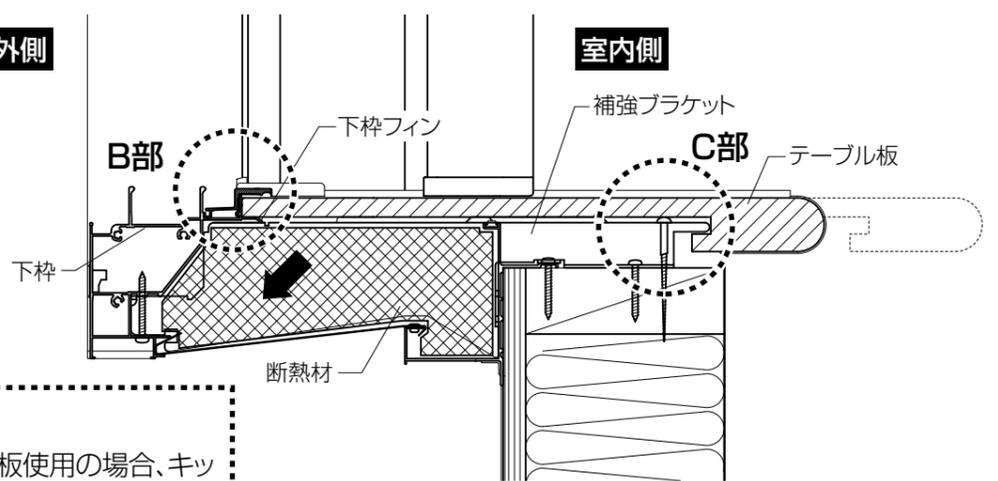
②下枠フィン・補強ブラケットにテーブル板の両端を上から押し、差込んでねじ止めします。

※ねじはあまり締めすぎないでください。部品を变形させるおそれがあります。



室外側

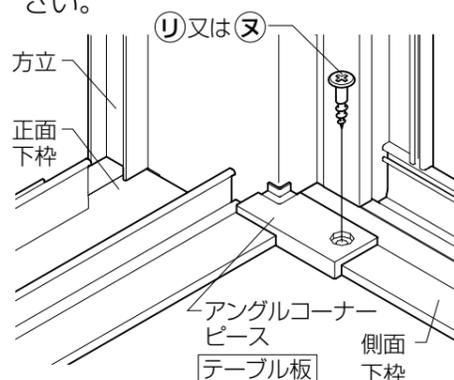
室内側



■B部詳細図

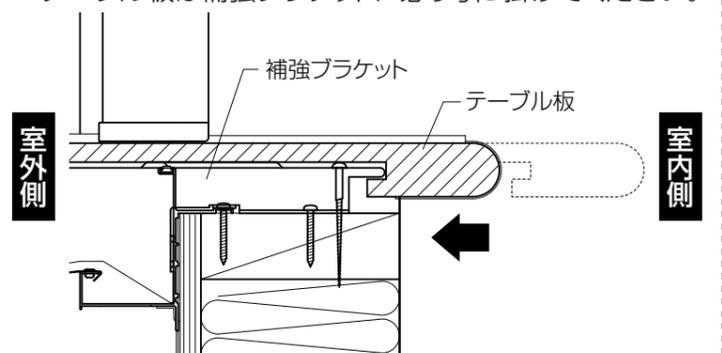
※人造大理石テーブル板使用の場合、キッチン用はφ3、浴室用はφ3.5の下穴を必ずあけてください。

※浴室用出窓では、ねじ穴にコーキング材を充てんした後、ねじ止めしてください。



■C部詳細図

※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。



5 造作材(仕上げ材)と縦枠・壁付上枠の固定

6 シーリング処理(浴室用のみ)

7 障子の建込み

8 建付け調整

6 シーリング処理(浴室用のみ)

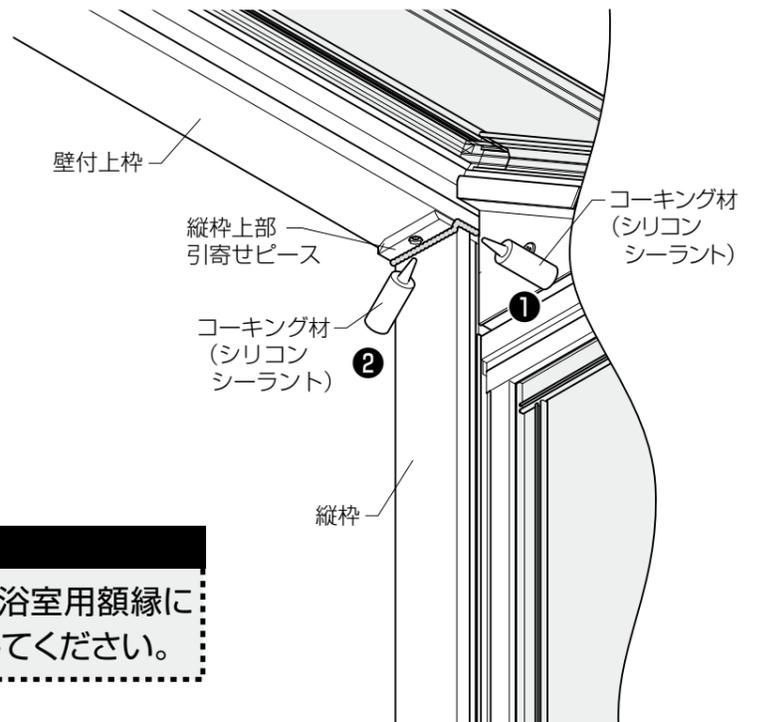
- ①シーリング個所のごみ・油・水分を取除きます。
- ②浴室用額縁に同梱のマスキングテープを張ります。
- ③浴室用額縁に同梱のコーキング材を打ち、へらで仕上げます。
- ④マスキングテープを取除き、硬化するまで養生します。

■シーリング個所

- ①壁付上枠と縦枠の間
- ②縦枠と縦枠上部引寄せピースの間

▲ 注意

- 部材・部品の取合わせ部には、必ず浴室用額縁に同梱のコーキング材でシーリングしてください。



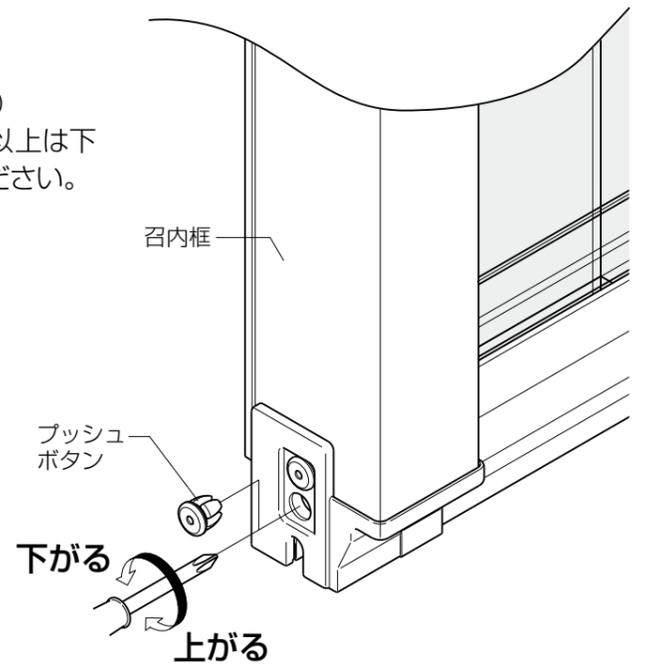
8 建付け調整

■戸車調整

- プッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)
- ※出荷時、障子は下がった状態にしております。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

●お願い

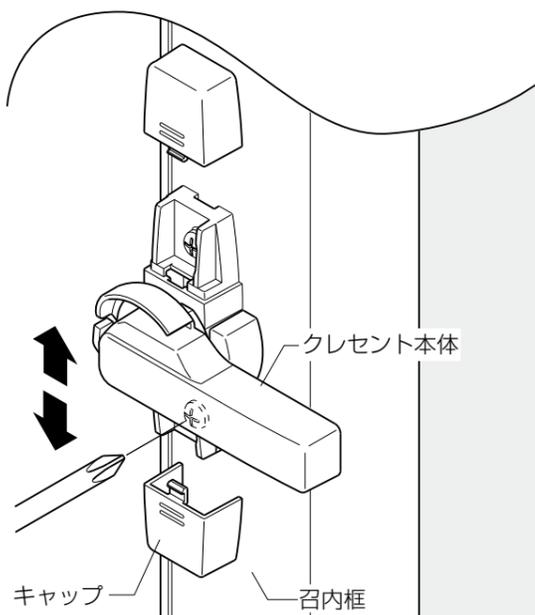
- 召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。
(障子を閉めた状態で部品を下げたすき間をなくします。)



■クレセント調整

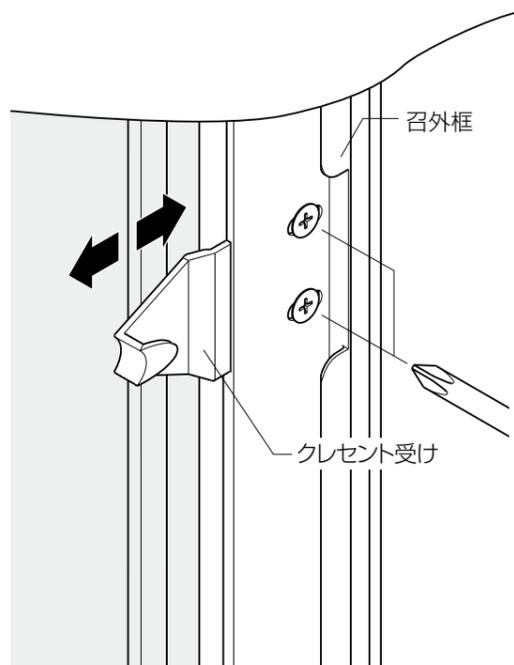
【上下方向の調整(クレセント本体)】

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじを緩めてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整(クレセント受け)】

- プラスドライバーでねじを緩めてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



■外れ止め調整

- プラスドライバーでねじを緩めて外れ止めを上げます。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲ 注意

- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

